



# おかめファンクラブ

戸田屋のお客様にはおなじみのかみがありました。

インタビュー #022

## 高木 孝治さん

古民家ライフ株式会社 代表取締役。福島県伊達市出身。古民家の再生・移築、木組みの家を手がける。第5回 山形の家づくり大賞コンペ 県産材使用住宅部門大賞受賞。

古民家ライフでは、古民家の移築・再生と、自然素材の木組みによる新築住宅を手がけています。木造で尚且つシャープに収めたい。そんな考えがあつて建築家の方と組むことが多いですね。いつかは自分で設計もしてみたいのですが、今は現場にあたりながら勉強中です。木材は建てる住宅から一五〇㎞圏内のものを選びたいです。山形と宮城の県境や金山杉。なるべく地元で取れる木を使いたいのです。お客様には必ず

一緒に山に行つてもらつています。今担当しているお客様にも、木を倒すところから見てもらつています。です。ここから来た木なんだ」といのがわかつていると愛着も全然違ひますね。自分にとってのエコは「古民家」で、解体すれば土に帰る素材。再利用できる素材を厳選して使つているので、壊したときにも環境負荷を与えません。住まなくなつたとしても、解体してまた使えるんです。

戸田屋さんのお菓子では「カステラ」が一番好きです。製造過程を見せてもらつたのですが品質にこだわつていて、安心して食べられます。責任を持つて作つていのがよくわかる。どこに持つて行つても喜ばれるんです。

戸田屋さんも私も、素材にこだわつています。安心して食べる、安心して住める環境を提供する。そういった部分は似ていると思うんですよ。日本人で良かったと思える住宅を作り「やまとごころ」を大切にしたいです。

# おかの新聞

早春号



おかめマーク、創業者のおばあちゃんのお顔絵です。当店のイメージキャラクターにしました。戸田屋正道のイメージにピッタリです。今では「おかめマーク」＝「戸田屋正道」になりました。

東進専心 戸田屋正道 <http://www.toda-ya.com>

# 菓子職人日記

戸田 正宏

食品の異物混入が社会問題化しています。カップ焼きそば、チキンナゲットやハンバーガーへの異物混入がマスコミに叩かれ、お客様のやり玉に挙げられています。当店も異物混入がないように警戒レベルを上げ、以前にもまして全員で取り組んでいます。

教育を徹底しても、人間が介在する以上、困つたことに完全には防げないようです。混入の可能性を徹底的につぶし、限りなくゼロに近づけるしか手だてがありません。

「シガール」で有名なヨックモックさんは、近代的な設備で、ほぼ全自動化の生産ラインですが、仕込みの最終段階で、あえてリスクを覚悟で、素手で生地をかき混ぜる工程があるそうです。人間の温もりや魂が入り、焼き上がりが違うそうです。当店は手作りの菓子屋。ことさら異物混入がないように努力しています。お客様からの苦情は経営者にとって最も辛い出来事。菓子屋を廃業しようかと思つたことすらあります。しかし、それ以上に「美味しかった」の言葉は何にも勝る喜びです。今日もおお客様の美味しい笑顔を思い描きながら、元気に仕事をさせていたです。

## お便り紹介

久々に好転まんじゅうを買いに行きました。本当に久々でしたので、好転まんじゅうのシールと値段が変わっていたのねと思いました。以前は購入しやすいお手頃なお値段でしたから、いいの？という思いもありました。あのお値段は嬉しかったです。私は以前のシールの方がうれしいです!! 好転まんじゅうを買いに行く時は、神頼みな感じのところもあり、縁起を担ぐ？ところもあり、おまんじゅうのシールは白黒とおみくじのような感じがえりました。そんなところがとても好きでした。景気好転まんじゅうのシールも大好きでした。両方手帳に貼って大切に思い何度もながめていました。

東日本大震災があった時、私の子どもは仙台の大学にいました。アパートも大学も山沿いだったので大きな被害はありませんでしたが、ライフラインが絶たれました。でも、幸いな事にすぐ近所に区のセンター（公民館のような）があり、そこに避難でき、お世話になりました。

大学卒業でアパートを引っ越す時、区のセンターの職員の方々にお世話になったお礼に好転まんじゅうを持って行きました。『どうぞ一日も早く復旧復興できますように』という思いを「好転」に込めて。

この時、好転頭頂があつてよかったと心から思いました。ありがとう。

以前のシールに戻らないかなあ...

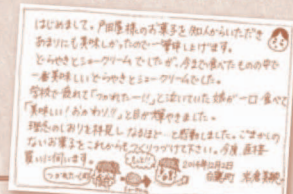
(山形県 yurico様より)

はじめまして。戸田屋様のお菓子を友人からいただき、あまりにも美味しかったので一筆申し上げます。どら焼きとシュークリームでしたが、今まで食べたものの中で一番美味しいどら焼きとシュークリームでした。

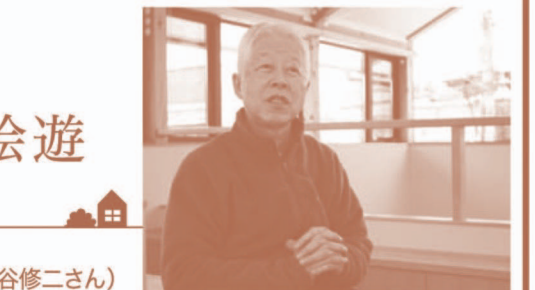
学校で疲れて「つかれたー!!」と泣いていた娘が一口食べて「美味しい!おかわり!!」と目が輝きました。

理念のしおりを拝見し、なるほど...と感動しました。ごまかしのないお菓子をこれからもつくり続けて下さい。今度、直接買いに行きます。

(白鷹町 岩倉様より)



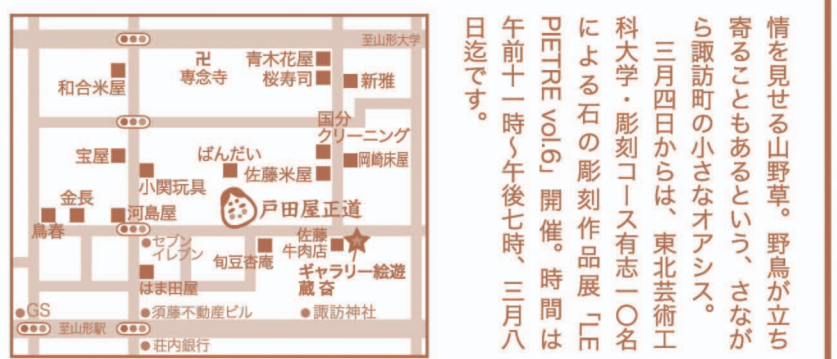
## 戸田屋界隈の元氣な名所 第11回 街ナビ



### ギャラリー 絵遊 蔵 谷

山形市諏訪町1丁目4-10 090-9532-0318 (担当 駒谷修二さん)

明治初期に建てられた座敷蔵の「蔵谷ダイマズ」と、芸工大による「ヤマガタ蔵プロジェクト」の協力で設計した「ギャラリー絵遊」。美術作品の展示や様々な文化事業を開催できるギャラリーとして、平成十八年十一月一日に開設されました。



**人間が好き、お菓子大好き!**

**品質責任の証**

当店では、磯部晶策氏(岩波新書「食品を見分ける」著者)の提唱する磯部理念に基づいた菓子づくりをしております。

お客様に心の底から喜んでいただける徹底した菓子づくりと、お客様の後ろ姿に「どうぞお幸せに」と祈りの販売をすることにより、品性資本を蓄えることを当店の理念としております。

**よい食品の四つの条件**

- 一、安全で、安心して食べられること
- 二、ごまかしのないこと
- 三、味のよいこと
- 四、口質に応じて価格が妥当であること

**食品に携わる人の四つの原則**

- 一、原材料の厳選
- 二、加工段階の純正化
- 三、固い信念にととづく「徹なメーカーの姿勢
- 四、メーカーといえども99%は消費者の立場と自覚

磯部理念より

東進専心 戸田屋正道

<http://www.toda-ya.com>

〒990-0032 山形市小姓町1番32号  
午前9時～午後7時(日曜・祝祭日6時半閉店)  
定休日/元日、第二・第四水曜日(祝日・繁忙期は営業)  
TEL. 023-622-6728 FAX. 023-634-6728